

長崎県におけるヤノネカイガラムシの天敵の寄生状況

[要約] ヤノネカイガラムシの天敵の寄生はほぼ県下全域で確認され、寄生率の高い園では約26%であった。同じ地域内でも園により寄生率の差が大きいため、寄生率が低い園では高い園からの天敵の移入または追加放飼が有効である。

長崎県果樹試験場・病害虫科	専門	作物虫害	対象	果樹類	分類	指導
---------------	----	------	----	-----	----	----

平成8年度 長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

ヤノネカイガラムシの2種の天敵、ヤノネキイロコバチ、ヤノネツヤコバチは、昭和59年以降、増殖・配布されており、ヤノネカイガラムシの密度抑制に大きく貢献している。そこで、1996年12月～1997年3月にかけて、長崎県内の3市14町のカンキツ園28カ所についてヤノネカイガラムシの発生状況及び天敵の寄生状況を、放任園を中心に調べ、天敵の定着状況を調べた。

[成果の内容・特徴]

- ①ヤノネカイガラムシの発生状況は園による差が大きく、県内での寄生率は県北地域、西彼杵半島で高い。
- ②天敵の寄生はほぼ県下全域で確認されたが、同じ地域内でも園により寄生率の差が大きかった。寄生率の最も高いところでは約26%である。
- ③佐世保市棚方町、壱岐郡郷ノ浦町、西彼杵郡大瀬戸町などでは、ヤノネカイガラムシの寄生密度が高いにもかかわらず天敵の寄生率は低い。
- ④天敵の寄生率が低い園では、寄生率が高い園からの天敵の移入または追加放飼が有効である。

[成果の活用面・留意点]

- ①天敵の寄生率が高い園（地域）では、天敵の有効活用とヤノネカイガラムシの省農薬防除を図る。
- ②天敵の寄生率が低い園へ天敵を移入放飼する場合は、天敵への影響の少ない農薬を選定する。

[具体的データ]

表1 放任園におけるヤノネカイガラムシの発生状況及び天敵の寄生状況

調査地	調査日	ヤノネカイガラムシ 寄生葉率	ヤノネカイガラムシ 寄生密度	天敵* 寄生率
南高来郡北有馬町清水	96.12.17	5.0 %	— 頭/葉	— %
南高来郡南有馬町白木野	96.12.17	5.0	—	—
南高来郡加津佐町後登龍	96.12.17	0.0	0.0	0.0
南高来郡小浜町日当	96.12.17	0.0	0.0	0.0
南高来郡瑞穂町高田A	96.12.17	0.0	0.0	0.0
南高来郡瑞穂町高田B	96.12.17	22.4	3.24	8.5
島原市宇土町A	96.12.17	40.5	1.31	25.5
島原市宇土町B	96.12.17	0.0	0.0	0.0
南高来郡西有家町見岳大払	96.12.17	20.0	0.65	3.8
松浦市御厨町中野免A	97.2.24	23.8	0.56	19.8
松浦市御厨町中野免B	97.2.24	22.8	0.52	17.7
北松浦郡田平町下寺免	97.2.24	33.1	1.82	14.2
佐世保市宮町	97.2.25	28.5	0.72	20.0
佐世保市棚方町	97.2.25	61.2	3.29	3.1
壱岐郡勝本町片山触A	97.3.5	0.0	0.0	0.0
壱岐郡勝本町片山触B	97.3.5	0.0	0.0	0.0
壱岐郡芦辺町当田	97.3.5	0.0	0.0	0.0
壱岐郡芦辺町中野郷	97.3.5	15.0	0.26	11.9
壱岐郡石田町筒城	97.3.5	43.1	2.15	25.6
壱岐郡郷ノ浦町物部	97.3.5	77.5	3.23	3.1
壱岐郡郷ノ浦町坪触	97.3.5	0.0	0.0	0.0
西彼杵郡多良見町佐瀬郷 五十石A	97.3.6	46.3	1.48	8.5
西彼杵郡多良見町佐瀬郷 五十石B	97.3.6	60.0	1.86	17.4
西彼杵郡多良見町佐瀬郷 五十石C	97.3.6	86.3	2.14	24.8
西彼杵郡西海町面高	97.3.24	68.8	1.64	9.2
西彼杵郡西海町太田和	97.3.24	58.5	2.45	9.5
西彼杵郡大瀬戸町塚堂	97.3.24	82.5	3.76	4.3
西彼杵郡大瀬戸町雪の浦	97.3.24	75.6	1.76	2.8

注) 天敵はヤノネキイロコバチとヤノネツヤコバチが主な種類, —は未調査

[その他]

研究課題名: 生物利用防除技術推進対策事業

予算区分: 県単

研究期間: 平成8年度(平成8年~)

研究担当者: 西野敏勝, 中村吉秀